

東北地方 1か月予報

(5月3日から6月2日までの天候見通し)

平成20年5月2日
仙台管区気象台発表

<特に注意を要する事項>

期間の前半は気温の変動が大きく、1週目は高く、2週目は低くなる見込みです。

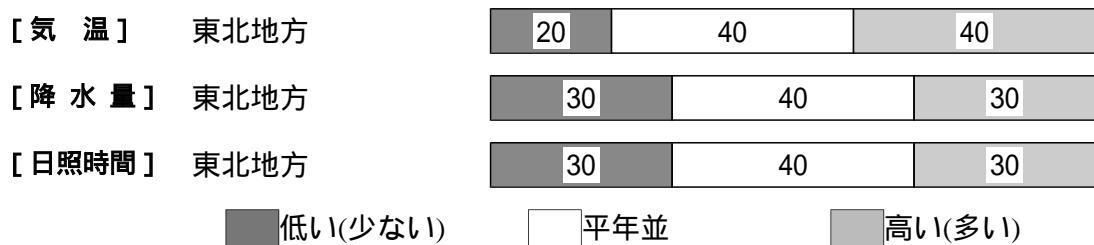
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
東北地方は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

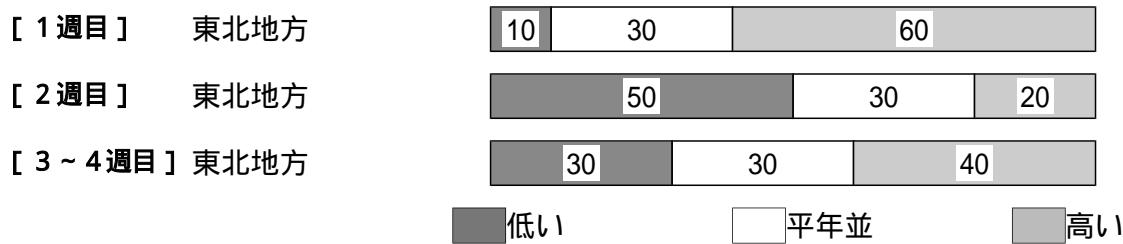
向こう1か月の平均気温は、平年並または高い確率がともに40%です。

週別の気温は、1週目は高い確率が60%、2週目は低い確率が50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 5月 3日(土) ~ 6月 2日(月)

1週目 : 5月 3日(土) ~ 5月 9日(金)

2週目 : 5月 10日(土) ~ 5月 16日(金)

3~4週目 : 5月 17日(土) ~ 5月 30日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は5月9日

3か月予報:5月22日(木) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	13.4	77.2	211.4	11.7	12.8	14.1
深浦	13.3	103.9	200.0	11.6	12.7	14.0
むつ	12.4	91.3	207.7	10.7	11.9	13.1
八戸	13.3	86.3	208.5	11.8	12.9	13.9
秋田	14.5	118.4	194.8	12.7	13.8	15.2
盛岡	14.1	101.7	195.9	12.3	13.5	14.9
大船渡	13.9	151.1	197.1	12.3	13.3	14.7
宮古	13.3	99.6	191.2	11.9	12.9	13.8
仙台	15.2	107.8	197.7	13.6	14.6	15.8
石巻	14.3	98.5	205.6	12.6	13.7	14.9
山形	15.8	82.0	203.5	14.0	15.1	16.5
新庄	14.5	104.1	182.6	12.5	13.8	15.4
酒田	15.2	112.4	201.7	13.4	14.5	15.9
福島	16.8	88.0	197.0	15.2	16.3	17.5
若松	15.8	79.7	199.8	14.0	15.1	16.6
白河	15.1	121.5	188.2	13.6	14.5	15.8
小名浜	15.3	146.1	199.8	14.0	14.9	15.9

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.3 ~ +0.5	85 ~ 113	97 ~ 105
東北日本海側	-0.3 ~ +0.4	83 ~ 114	96 ~ 105
東北太平洋側	-0.3 ~ +0.4	81 ~ 111	97 ~ 106

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6 ~ +0.9	-0.4 ~ +0.7	-0.4 ~ +0.5
東北日本海側	-0.6 ~ +0.9	-0.4 ~ +0.7	-0.5 ~ +0.5
東北太平洋側	-0.5 ~ +0.8	-0.3 ~ +0.7	-0.4 ~ +0.6

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1よりも多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成20年5月2日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(5月3日~6月2日):

天気は数日の周期で変わらるでしょう。東北地方は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

なお、期間の前半は気温の変動が大きく、1週目は高く、2週目は低くなる見込みです。

平均気温は平年並または高い確率がともに40%です。

1週目(5月3日~5月9日):

高気圧におおわれて晴れる日が多いですが、期間のはじめと中頃は気圧の谷の影響で雨の降る日があるでしょう。

平均気温は高い確率が60%です。

2週目(5月10日~5月16日):

天気は数日の周期で変わらるでしょう。気圧の谷の影響で、東北地方は平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

平均気温は低い確率が50%です。

3~4週目(5月17日~5月30日):

天気は数日の周期で変わらるでしょう。東北地方は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

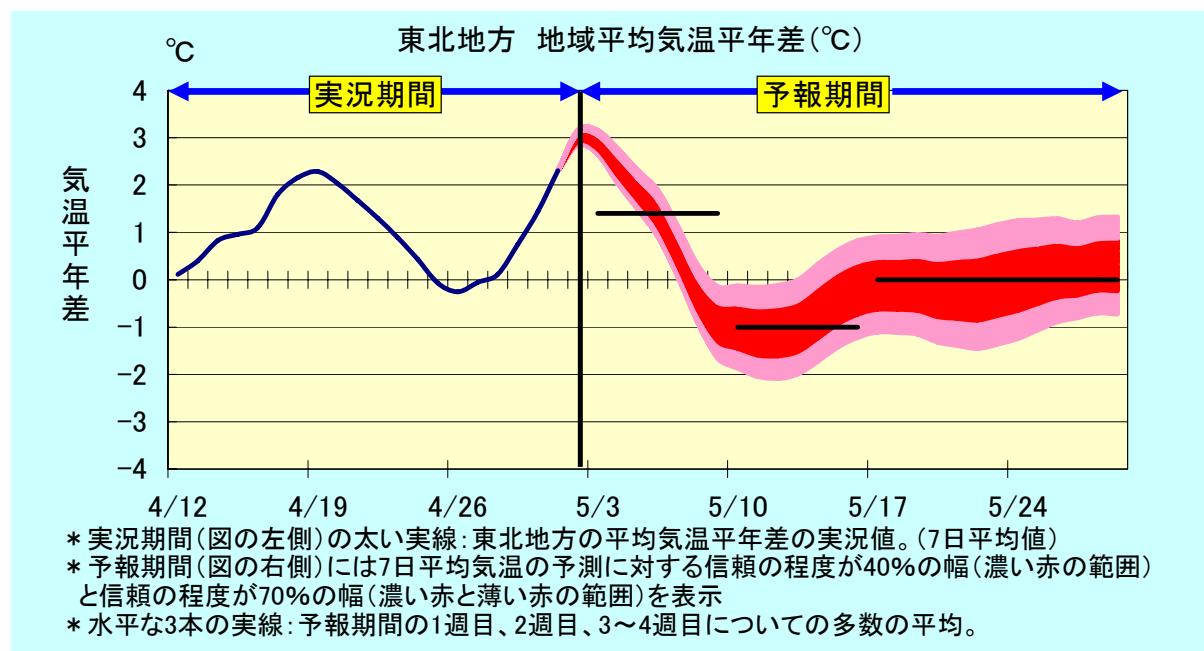
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	16.2日	3.9日	4.0日	8.3日
東北太平洋側	16.2日	4.1日	4.0日	8.1日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目は平年を上回り、2週目は平年を下回り、3~4週目は平年付近の予想となっている。

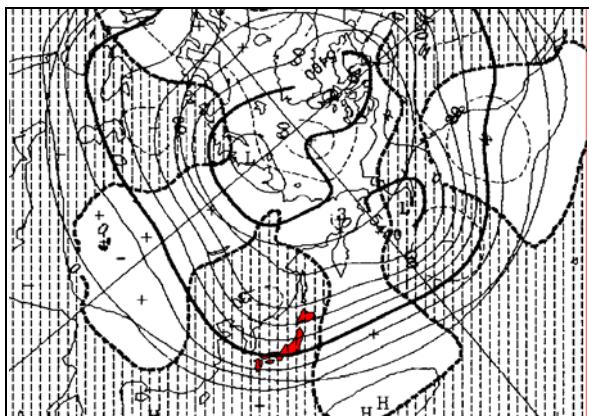


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

1か月平均：日本付近は沿海州を中心を持つ負偏差がかかり、やや西谷傾向。一時寒気の影響を受けると見込まれるが、東北地方の大気下層の気温（図略）は正偏差であり、月としての低温傾向は見られない。

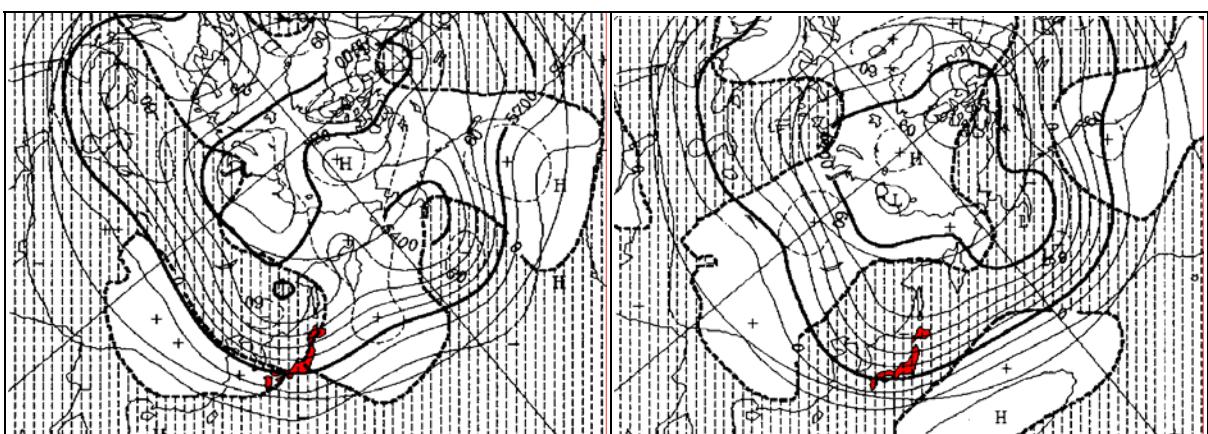
1週目：中国大陸北部と日本の南海上は負偏差。一方、中国大陸南部と日本の東海上は正偏差。日本の東海上で高気圧の勢力が強く、南からの暖かい空気が入り気温は高くなる見込み。

2週目：日本付近は広く負偏差。気圧の谷や寒気の影響を受けて、天気はぐずつき気温は低くなる見込み。



1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図

2週目平均 500hPa 予想天気図

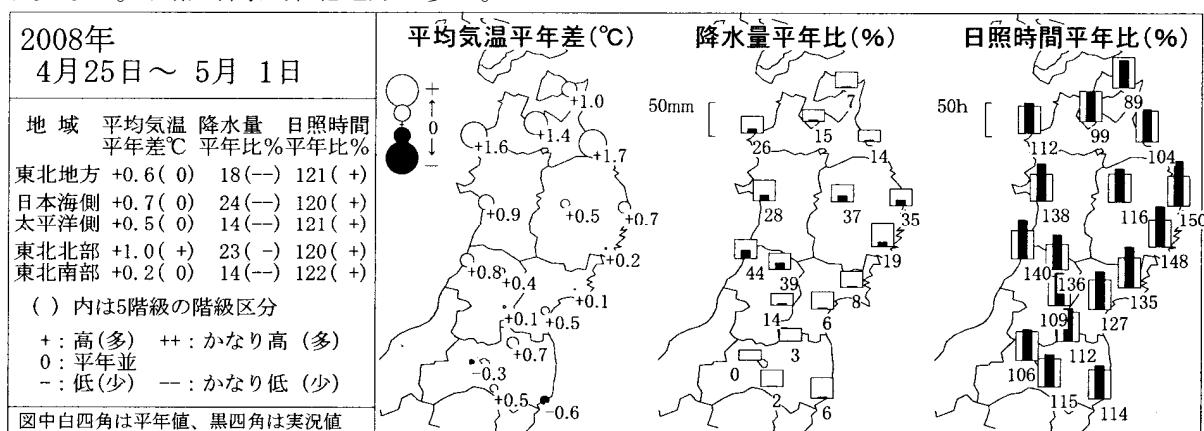
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間 (4月25日～5月1日) の天候の経過

期間の前半は寒冷前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日があり、寒気の影響で気温の低い日もあった。その後は移動性高気圧におおわれ晴れの日が続き、期間の終わりには高気圧の縁辺をまわる南からの暖かい空気が入ったため気温が高くなり、1日は各地で平年を大きく上回る気温となつた。

平均気温は東北北部で高く、東北南部で平年並。降水量は東北北部で少なく、東北南部でかなり少ない。日照時間は東北地方で多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）